

新型コロナウイルス感染症に係る感染状況を踏まえた対応について

千葉県立千葉西高等学校

日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

全国的な新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生徒のご家族が感染されたという報告が増えております。その場合、生徒は概ね濃厚接触者となり、PCR検査を受け、陰性でも14日間の家庭での待機が義務付けられているところです。

職員・生徒に陽性者が出た場合は、保健所は発症前からの行動履歴を確認し、濃厚接触者の特定を行いますが、千葉市の保健所の場合は「マスク無し、1m程度の近距離、15分以上の密な接触」の状況があるかどうかで濃厚接触者を特定するようです。陽性者がいた場合でも、この条件に当てはまる陽性者本人の行動履歴がなければ、「濃厚接触者なし⇒感染の恐れがない」と判断され、全校の臨時休業や学年・学級閉鎖をすることなく教育活動を続けることができます。

生徒には令和2年9月以降、「自分が濃厚接触者にならない、自分の濃厚接触者をつくらない」ことを強調し、学校でのマスク常時着用を呼びかけ、会話の折は必ずマスクを着けていること、昼食時は話すことなく食事を摂ること（黙食）、部室等では話さずに速やかに更衣すること、下校時等の飲食を慎むことなどを指導してまいりました。令和3年に入り、状況がさらに逼迫してきたため、運動部活動時もマスクをつけての活動を推奨したところです。

今後、陽性者が出た場合で、濃厚接触者等への感染の広がりが懸念される場合など、休校や学年閉鎖が必要になることも考えられます。その場合は保護者の皆様にホームページ等を通じてすぐにお伝えいたします。先に述べたように、濃厚接触者が存在せず、感染の恐れのない場合は予定された通りの教育活動を実施します。

また、感染に関することは「個人情報」となりますので、取扱いには十分気を付けなければなりません。他校の例で個人を特定しようとする心ない行動が起こった事実もございます。個人情報保護の観点により、感染状況に係る情報の全てを全生徒や全保護者に開示することはできませんので、お知らせできないことについてはこのような事情があることをお含みおきください。

安心・安全な学校生活に必要な情報は必ず発信してまいりますので、学校の感染症対策を信頼していただきたく存じます。生徒の皆さんに対しても、適切な情報提供に努めますので、正しい情報の共有を切にお願い申し上げます。

最後になりますが、各家庭における感染症対策につきましても、これまで以上に緊張感を持ってご対応いただきますよう重ねてお願い申し上げます。